

浦幌町立博物館だより

2024(令和6)年7月号

編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp



観音トンネルの観音さま



観音トンネルの留真側入口脇に建つ観音堂



堀久太郎が炭焼き窯の蓋に彫ったとされる千手観音

道道本別・浦幌線の観音トンネルの入口脇に、小さなお堂があります。トンネル名称の由来となっている観音様がおさめられているお堂です。

大正時代、活平と留真の間で、川岸の崖を越えるように峠道が作られました。この峠道の開削にあたっては、タコと呼ばれる土抗夫が厳しい労働によって整備したとされ、亡くなった者は道沿いにそのまま埋められと伝えられています。この峠道は登坂部が

川沿いの急な崖になっており、崖下に馬や人が転げ落ちてしまう事故が絶えませんでした。人々はと念仏を唱えながら往来したということから、かつては「念仏峠」と呼ばれていました。

1918(大正7)年ころ、留真の堀久太郎が炭窯の蓋を用いて千手観音を彫り、峠の頂上に祀りました。通行の安全と、亡くなったタコたちの霊を慰めるためといえます。これにより、峠道はしだいに「観音坂」と呼ばれるよ

うになりました。

1974(昭和49)年に観音峠がトンネルによって貫通されると、観音堂は留真側の峠下に下ろされ、トンネルも「観音トンネル」とされました。そして1978(昭和53)年に道道56号線に認定されています。

上浦幌と下浦幌を隔てる観音トンネルの観音様。通行の際は、いちどお参りにお立ち寄り下さい。

(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています！

オカダヤのソロバン



東京新宿のオカダヤは1927(昭和2)年の創業の老舗洋品店で、今日も営業を続けています。オカダヤさんと取引のあった末広町の谷尾洋服店の資料を寄贈いただきました。

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

新おとめ六法

上谷さくら著

2024年4月 KADOKAWA発行



「これって、私が悪いの?」「こういときどうしたらいいの?」万が一の「いざというとき」というのは、なにをどうすればいいかわからないもの。

本書は、「いざというとき」にあなたの暮らしに役立つ法律の知識が分かりやすく解説されています。トラブルにあったとき、「わたしが悪かったからだ」と思い込み、一方的に自分を責めてしまう人がたくさんいます。

しかし、本当にあなたが悪かったのでしょうか? あなたはなにか法律に触れるようなことをしたのでしょうか? 相手の行いのほうが正しかったのでしょうか?

少しでもそのような疑問を持ったなら、ぜひ本書をめくってみてください。あなたが再び前を向くきっかけになる法律が見つかるかもしれません。2023年刑法改正に対応。

(浦幌町立図書館 司書 山崎 菜摘)

【配架場所】

新刊コーナー

分類 320/カ



7月の博物館お知らせ

夏の企画展

閉山から70年-浦幌炭鉱-

2024年
7月20日(土)

9月29日(日)
10:00~18:00

場所:博物館特別展示ホール
主催:浦幌町立博物館

1954(昭和29)年の閉山から70年が経過した浦幌炭鉱は、十勝地方で唯一の石炭炭鉱でした。浦幌は、十勝地方には珍しい炭鉱町だったのです。

所蔵資料や写真などを用いて、浦幌炭鉱の歴史を振り返ります。



企画展関連事業

炭鉱展展示解説

日時: 7月20日(土)

1回目 11:00~12:00

2回目 14:00~15:00

場所:博物館特別展示ホール
申込不要・無料

開催中の企画展について解説します。

1回目と2回目は同じ内容です。

企画展関連事業

浦幌炭鉱跡地を巡る

日時: 7月27日(土) 13:30~17:00

集合: 浦幌町立博物館

定員: 8名(電話・メールで申込受付)

「炭山」地区を中心に、浦幌炭鉱ゆかりの地域を巡ります。
帽子、軍手、長袖、防虫スプレーなど、野外を歩ける服装が必要です。

モニタリングサイト1000里地調査

豊北植物調査会

日時: 7月6日(土) 9:00~12:00

集合: 浦幌町立博物館

定員: 8名(電話・メールで申込受付)

※自家用車利用の方は申込不要です。

毎月1回決まったルートの開花状況を調査して歩きます。

浦幌の自然をたのしむ会共催

ウチダザリガニバスターズ

日時: 7月28日(日) 13:30~16:00

集合: 13:30 浦幌町立博物館集合

定員: 小学生以上20名(電話・メール受付)

生態系保全のため、外来種ウチダザリガニを捕獲して観察。水辺の自然を考えます。

浦幌の自然を楽しむ会・浦幌町立博物館共催

入館料: 無料

開館時間: 10:00 ~ 18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員: 1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、
資料調査等は事前に電話かメール
にてお申し込みください。

7月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

休館日: 月曜日・祝日の翌日

7月31日(水)は月末資料整理日で
休館いたします。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車...約1時間
池田駅より普通列車...約30分
釧路駅より普通列車...約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広~浦幌間 1290円(片道)
釧路~浦幌間 1680円(片道)



駐車場無料
帯広市より国道38号線約1時間
釧路市より国道38号線約1時間半
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ: 電話 015-576-2009
〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1(図書館併設・役場となり)
E-mail: info@museum-urahoro.jp / <https://museum-urahoro.jp>